

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和8年1月19日

独立行政法人水資源機構

筑後川下流総合管理所長 北村 達也

(公印省略)

1. 目 的

この歩掛参考見積募集要領は、筑後大堰で予定している業務の積算の参考とするために、作業歩掛について募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和7・8年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、筑後川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な技術者の人数等を記載して提出して下さい。
提出期間：令和8年1月20日(火) から令和8年2月3日(火) まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで
- (2) 提出先
独立行政法人水資源機構 筑後川下流総合管理所長 北村 達也 宛
【担当】筑後大堰管理所 岩井、入江
〒830-0071 福岡県久留米市安武町武島1063-2
TEL 0942-26-4551 FAX 0942-26-2031
- (3) 提出方法
書面は持参、郵送又はファクシミリ（社印があること）により提出するものとします。

4. 参考見積内容

- (1) 作業項目及び作業内容
業務内容の詳細については、【別紙-1】に示す業務内容について、【別紙-2】の項目毎に必要な技術者の員数を記入してください。
- (2) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲
 - ①本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（調査等編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。
 - ②歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、上記（1）「作業項目、作業内容」を実施する為に必要な技術者、資機材の人数等を徴取します。
 - ③見積の有効期限は、令和9年3月31日までとします。

④見積の件名は、「筑後大堰水位塔耐震照査等業務（仮称）」とします。

(3) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和7年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

5. 募集要領に対する質問

この依頼書に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

- (1) 提出期間：令和8年1月19日(月) から令和8年1月22日(木) まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで
- (2) 提出場所：3. (2) に同じ。
- (3) 提出方法：3. (3) に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

- (1) 閲覧期間：令和8年1月28日(水) から令和8年2月3日(火) まで
- (2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. その他

- (1) この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。
ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。
- (2) 提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

－以 上－

【別紙－１】見 積 仕 様 書

筑後大堰水位塔耐震照査等業務（仮称）

第１節 見積内容

１－１ 見積概要

本依頼の見積内容は、筑後大堰管理施設である水位塔等の耐震照査に係る歩掛参考見積りである。見積書の様式は【別紙－２】のとおり作成するものとする。

１－２ 業務対象

福岡県久留米市安武町武島地内 筑後大堰管理施設 外

１－３ 業務概要

本業務では筑後大堰管理施設である水位塔等について、施設現況調査及び耐震性能を有しているかを確認するために必要となる耐震照査の実施を目的とする。

１－４ 実施内容

対象施設は次表のとおりとする。

また、対象施設の参考図について、【別紙－３】に示す。

実施内容	対 象 施 設
・ 資料収集整理 ・ 施設現況調査 ・ 耐震性能照査（局舎含む）	陸上水位塔（１号・２号水位塔）
	水上水位塔（３号・４号水位塔）
	水上観測設備（諸富観測所、六五郎橋観測所）

なお、六五郎橋観測所の施設現況調査は対象外とする。

１－５ 貸与図書等

本業務の設計に際しては、下記の図書を借用することができる。

- （１）本業務対象施設の完成図（PDFのみ）
- （２）筑後大堰施設現況調査業務 成果品（R3.3）（３号・４号水位塔の現況調査）
- （３）六五郎橋観測施設防食外工事 完成図（R4.3）

１－６ その他事項

- １．発注者との打合せにかかる労務費等については、本見積りの対象外とする。
- ２．電子成果品作成、報告書印刷製本にかかる労務費等については、本見積りの対象外とする。
- ３．打合せ・現地踏査の旅費交通費については、本見積りの対象外とする。

第２節 水位塔等の耐震照査等

２－１ 実施条件等

1. 水位塔等の諸元

- 1号・2号水位塔（陸上設置）：福岡県久留米市安武町武島地先（筑後大堰左岸側）
 $\phi 1200\text{mm}$ 及び $\phi 600\text{mm}$ 鋼管、 $L=16.8\text{m}$
 ALC組立局舎（ 4.36m^2 ）により構成
- 3号・4号水位塔（水上設置）：佐賀県三養基郡みやき町大字江口地先（筑後大堰右岸側）
 $\phi 1200\text{mm}$ 鋼管2本（消波塔、観測塔）、 $L=32.0\text{m}$
 ALC組立局舎（ 4.36m^2 ）により構成
- 諸富観測所（水上設置）：佐賀県佐賀市諸富町大字徳富地先（河口より7km）
 （福岡県津波災害警戒区域周辺及び佐賀県津波浸水想定区域周辺）
 $\phi 700\text{mm}$ 鋼管（2本で構成）、 $L=32.0\text{m}$
 SP2-2型局舎（ 5.33m^2 ）
- 六五郎橋観測所（水上設置）：福岡県久留米市城島町大字城島字西潟地先（河口より14km）
 $\phi 1200\text{mm}$ 鋼管（六五郎橋の橋脚裏に観測塔の1本で構成。橋脚と接合。）、 $L=37.0\text{m}$
 断熱材接着鋼版製組立局舎（ 5.28m^2 、R4更新）

2. 水上水位塔等の現地調査時においては下表船舶の貸与が可能である。

船舶名	規格	数量	備 考
FRP ボート	長さ × 幅 × 深さ $5.03\text{ m} \times 1.64\text{ m} \times 0.65\text{ m}$ 40PS（定員5名）	1 隻	燃料：ガソリン 受渡場所：筑後大堰管理所
ゴムボート	長さ × 幅 × 深さ $2.39\text{ m} \times 1.44\text{ m} \times 0.43\text{ m}$ 6PS（定員3名）	1 隻	燃料：ガソリン 受渡場所：筑後大堰管理所

2-2 実施内容

実施内容は次表のとおりとする。

区 分	検 討 内 容
① 業務計画	業務の目的、内容を整理し、業務の検討方針及び具体的な実施計画をとりまとめた業務計画書を作成する。
② 資料収集整理	業務計画に基づき、検討に必要な水位塔等の資料収集整理を行うものとする。
③ 施設現況調査	各水位塔等について貸与資料及び資料収集整理の成果を参考に、施設現況の健全度について調査を行うものとする。調査は鋼材の発錆、腐食を主とした劣化・損傷状況を確認するものとし、調査方法は目視を基本とするが鋼材の肉厚測定等を適宜実施し、劣化状況の把握に努めるものとする。
④ 局舎更新検討	局舎の劣化が著しいため、更新を検討することとする。 なお、更新検討に際しては、機能性、施工性、耐震性、経済性、環境性、維持管理性を踏まえた上で検討するものとし、更新後の図面及び数量計算書の作成を行うものとする。
⑤ 耐震性能照査	耐震性能照査は、「河川構造物の耐震性能照査指針」に準拠し、レベル1、レベル2地震動に対して実施する方針とする。水位塔等

	<p>の耐震照査に際しては杭本体に加えて、局舎も対象とすることとし、杭本体は静的照査（地震時保有水平耐力法）、局舎は耐震診断の実施を想定している。</p> <p>1号と2号水位塔、3号と4号水位塔は構造が基本的に同じであるため、各々で代表塔を設定し照査方法を設定するものとし、各水位塔等の構造（形状）に応じた耐震性能照査を行うものとする。</p> <p>なお、3号と4号水位塔は水中部に設置されているものの水位条件が異なるため、より悪条件（水位が高い上流）の3号水位塔を対象とする。</p> <p>局舎については更新後の構造で耐震照査を実施することとする。</p>
⑥ 照査	業務の節目（打合せの実施回数：3回以上を想定）毎に照査を行い、照査報告書を作成する。
⑦ 報告書作成	前項までの検討をとりまとめ、報告書を作成する。

— 以 上 —

【別紙－3】 参考図（対象施設外観）



筑後大堰周辺全景（1～4号水位塔）



諸富観測所



六五郎橋観測所



1号水位塔



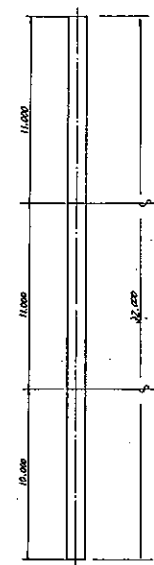
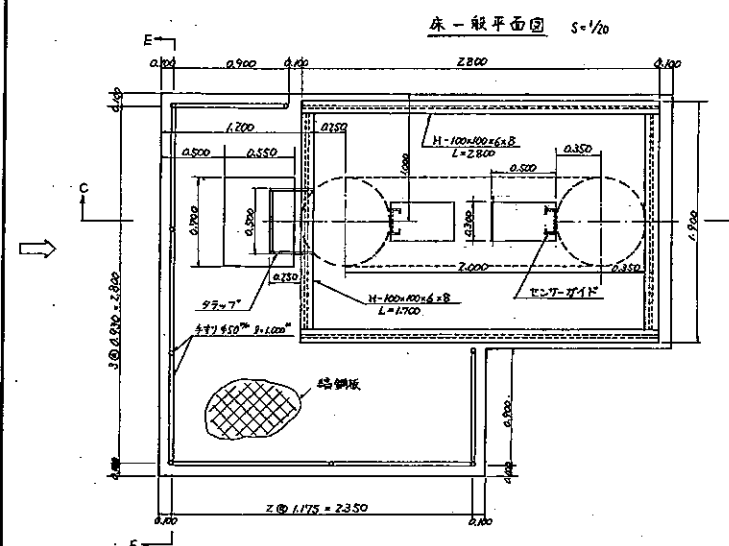
2号水位塔



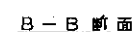
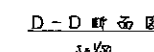
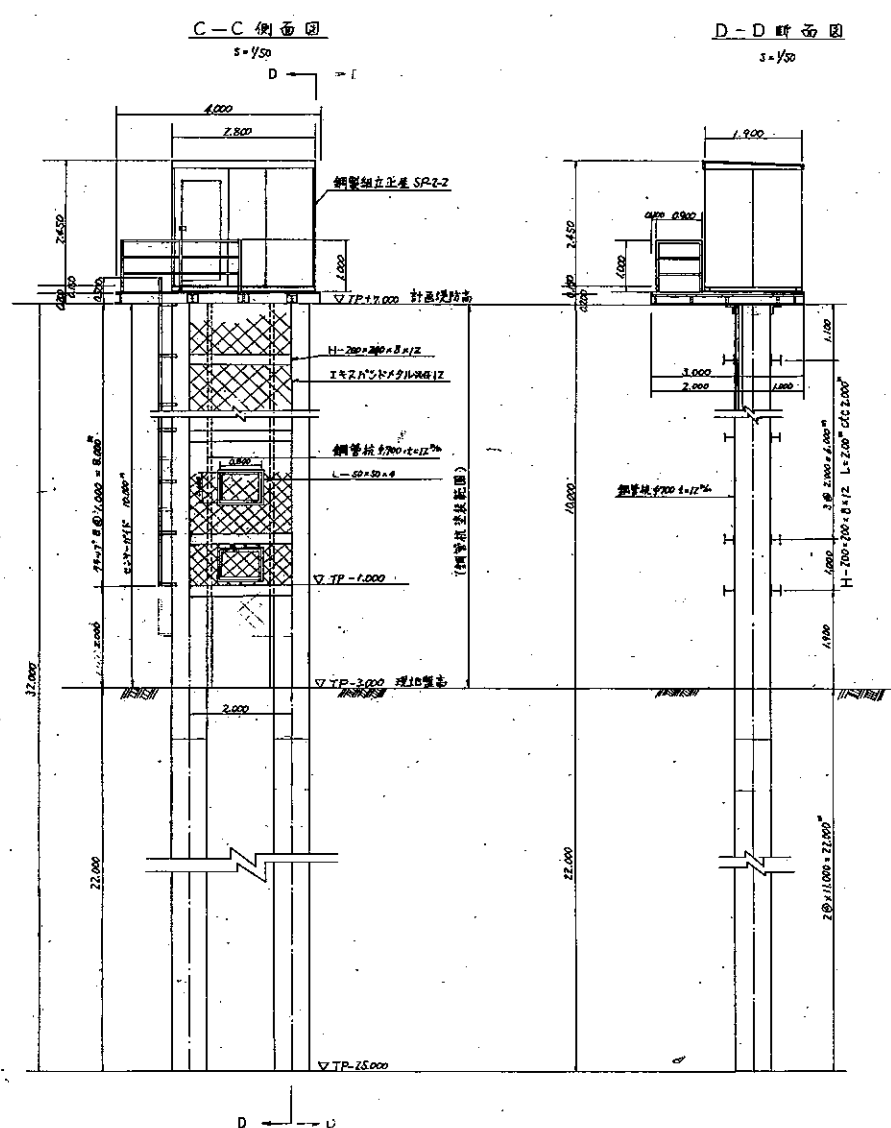
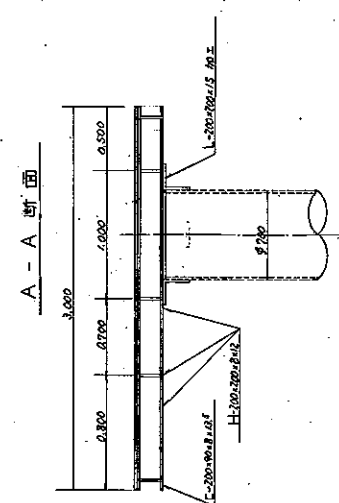
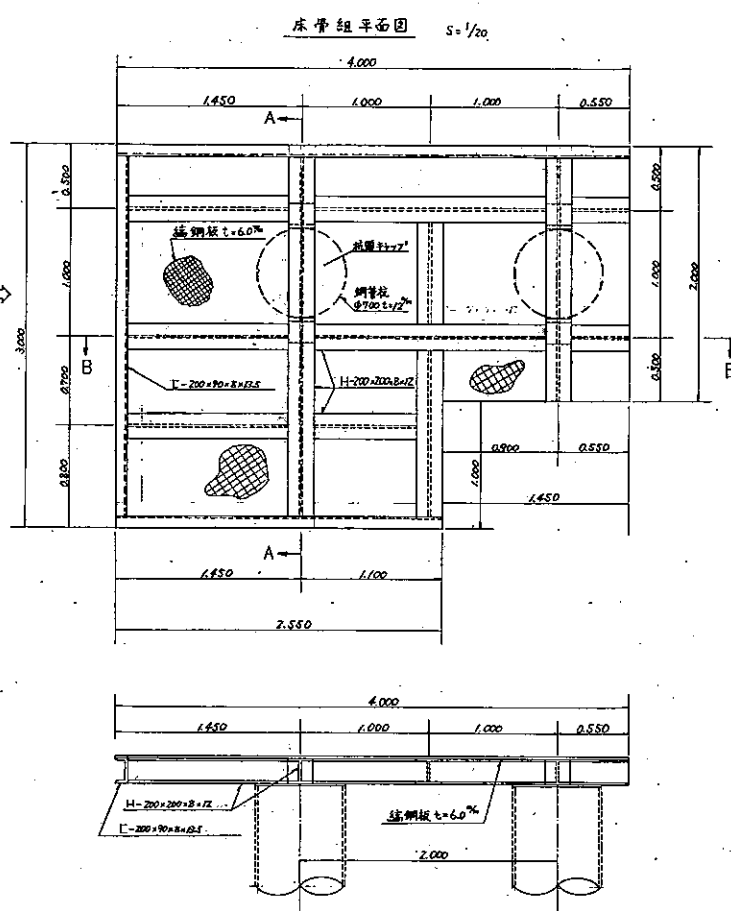
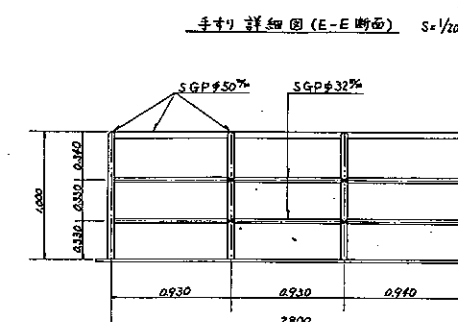
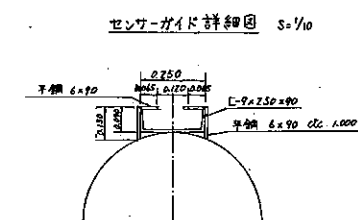
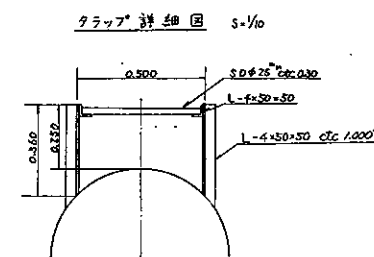
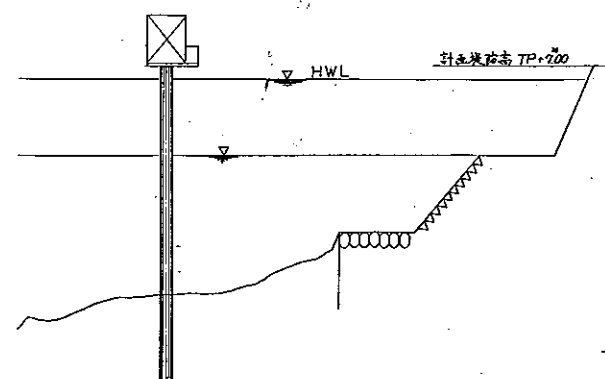
3号水位塔



4号水位塔



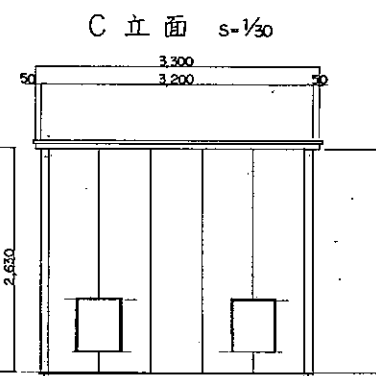
鋼管 杭					
	規 格	寸 法	長 さ	数 量	摘 要
上 杭	STK-41	$\phi 700 \times 12$	11"m	2 ⁺	
中 杭	"	"	11"m	2 ⁺	
下 杭	"	"	10"m	2 ⁺	



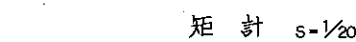
△		水田	灌漑	計測
△		水田	灌漑	計測
△		水田	灌漑	計測
△		水田	灌漑	計測
△	溝渚の改良	水田	灌漑	計測
△		水田	灌漑	計測

整備箇所	整備箇所
工事名	堤防高度測定・観測設置工事
開工	堤防高度測定・観測設置工事
閉工	堤防高度測定・観測設置工事

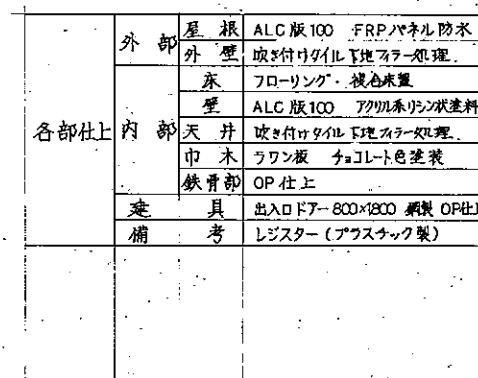
組立局舎詳細





小屋伏 $s=1/30$





仕 上 表

[illegible]

FLOW
 上流側
 下流側

[illegible]

FLOW
 上流側
 下流側

注) この図は、下主側である。上主側
は扉の位置が左岸側になるよ
う配置する。

平面 $s=1/20$

[illegible][illegible]

The diagram illustrates the cross-section of a bridge with two towers. Key dimensions include a total width of 6.50m at the top, a central span of 8.00m between tower centers, and a base width of 2.40m. Structural components like reinforcement bars (I-75x75x6), concrete slabs (H=150x150x10), and a central pier (P.L.=6.0) are labeled.

G-G 断面 s=1/4

Technical drawing of a welded joint. Dimensions include: $r = 150 \times 9$, $R = 60$, 75.175 , and 150 . Material specifications are $R = 130 \times 805 \times 7$ and H .

a) $R=1-6.0$
 $H=150 \times 150 \times 710$
 $L=150 \times 75 \times 9$

b) $R=1-6.0$
 $H=150 \times 150 \times 710$
 $L=150 \times 75 \times 6$

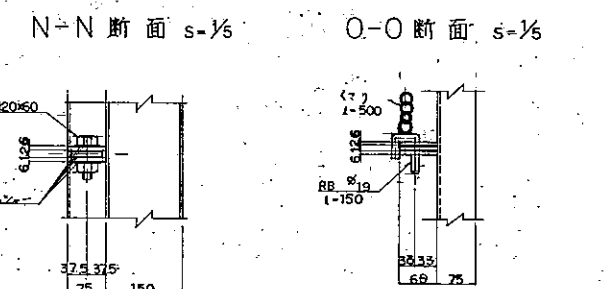
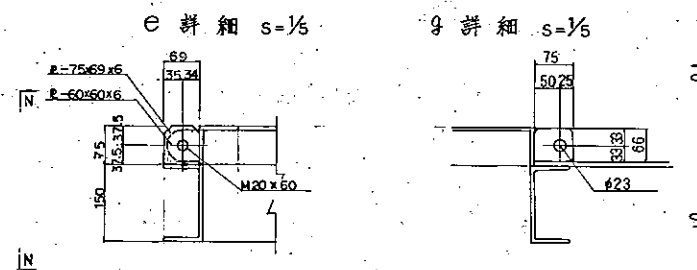
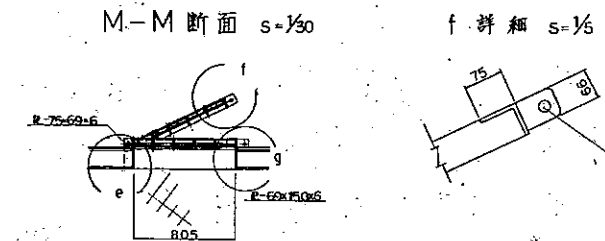
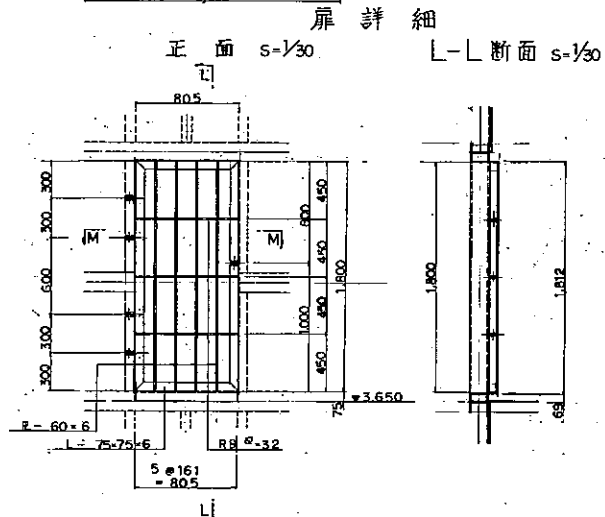
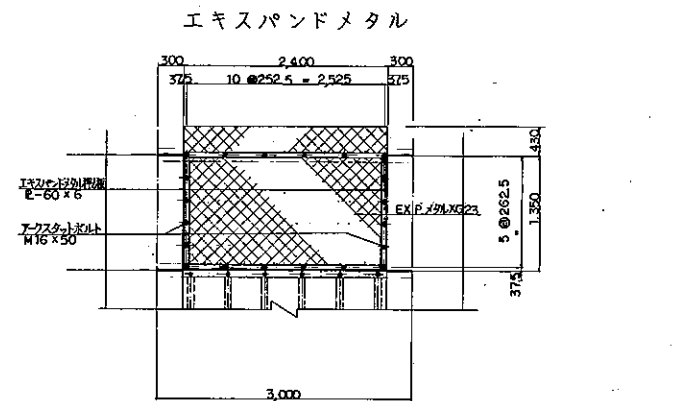
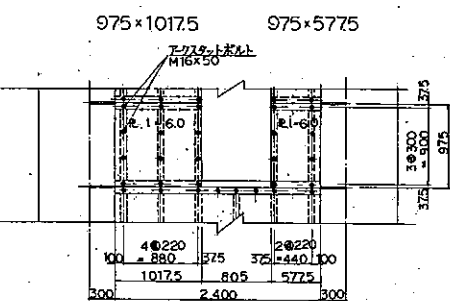
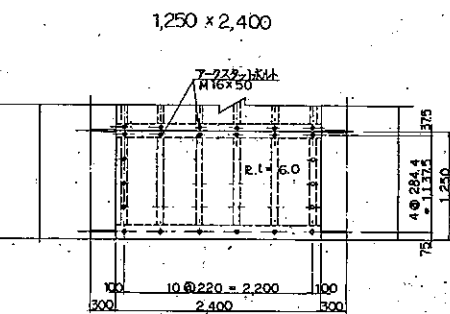
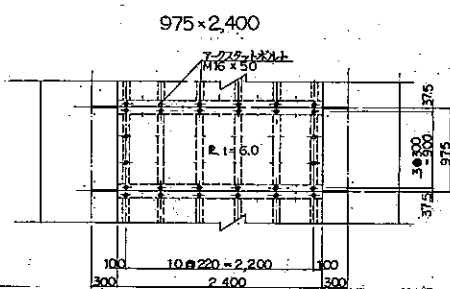
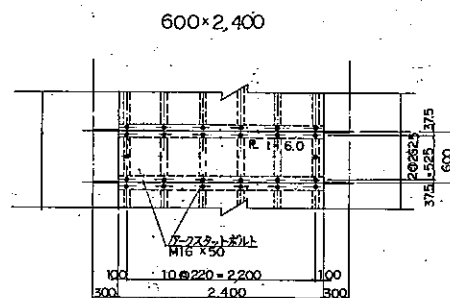
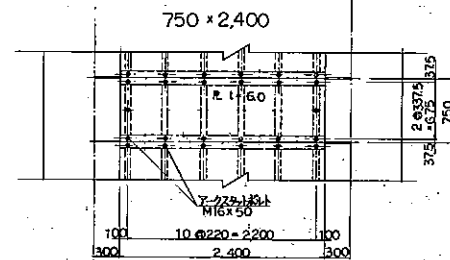
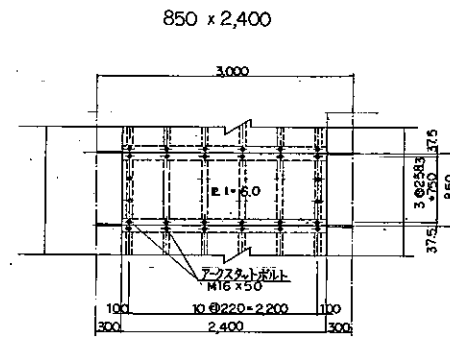
Figure 1 is a technical drawing of a mechanical part, likely a valve or plug, showing a cross-section. The part has a circular end face with a central hole. Dimensions are given in inches. Key dimensions include: overall length 3.97, inner hole length 2.53, outer diameter 2.1-10.0, inner hole diameter 2.50, and a central hole diameter of 1.1-1.0. A note indicates a tolerance of 0.001 for the 1.1-1.0 dimension. A scale bar at the bottom shows 300, 350, and 650 units.

金銭の授けを受け取った場合、利益の授けを受け取った場合

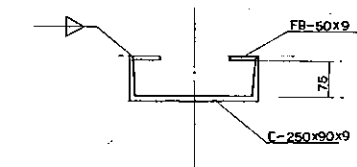
[illegible]

完 成 図			
▲			
▲			
▲			
▲			
▲	追加変更		
図面番号	0254	基準番号	11-06
工事名	異状大規模本体、その他工事		
3号4号水位塔			

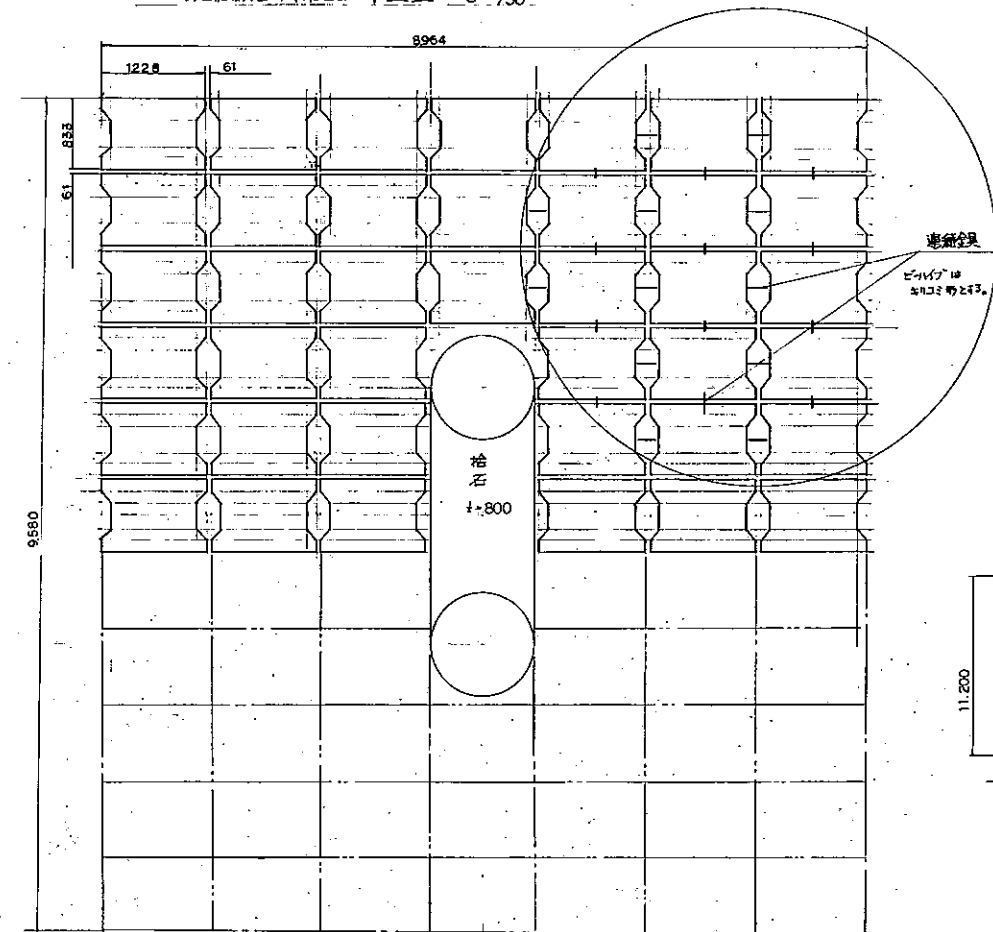
鋼板取付詳細 S = 1:30



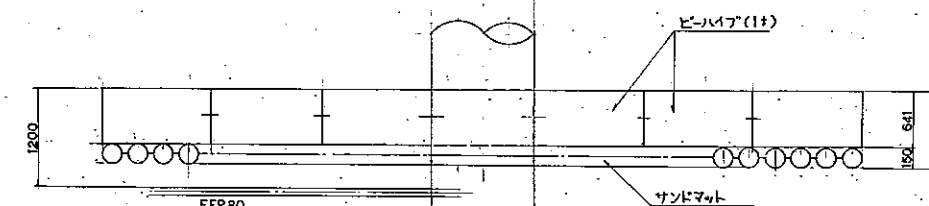
塩分濃度計ガイドレール詳細図 S-1/5



洗掘防止对策工 平面図 S=1/30



断面図

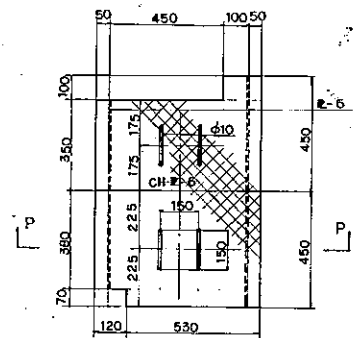
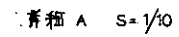


管布表断面图 1/50

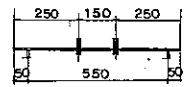
· 裝 裝 示 樣 ·

工 種	機 械	機 器	ターボエンジン部用漆		7911機用漆系			
			塗 料 名	塗布回数 (回)	塗布面積 (㎡)	塗 料 名	塗布回数 (回)	塗布面積 (㎡)
船体塗装	底面処理	シャトルグラマー	シャトルアグスト+ホワイトアグスト (1倍) (1)	1	20	エナグブラザー	1	15
工場塗装	底面処理 鋼骨組立		珪酸水素、G3等+珪酸、珪酸系顔料50%の 樹脂をホワイトアグスト+エナグに混合して塗布す。 珪酸系珪酸粉は入念に行う。処理後はプライ マーを塗り直す。	1	30	珪酸水素G3等+珪酸 1倍	1	35
						〃 2倍	1	25
(注) 現場塗装	底面処理		珪酸水素、G3等+珪酸、珪酸系顔料50%の 樹脂をホワイトアグスト+エナグに混合して塗布す。 珪酸系珪酸粉は入念に行う。処理後は工場 塗料に準じて珪酸塗布す。	1	70	7911機用漆系	1	25
						〃 (2倍)	1	25
中塗塗装 上塗塗装			ターボエンジン部用漆	1	70			
				1	70			

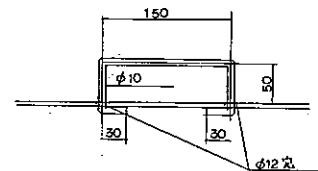
注) 中上並並置は色見本と監督員に提出し指示を受けること。



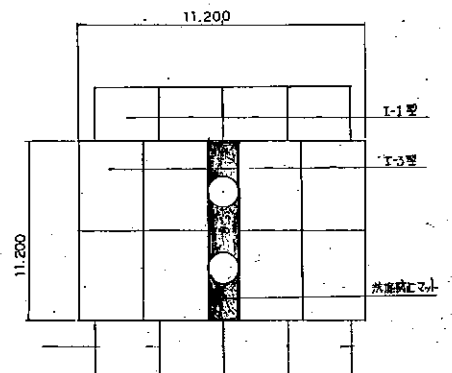
P-P 断面



取, 手詳細 $S = 1/3$



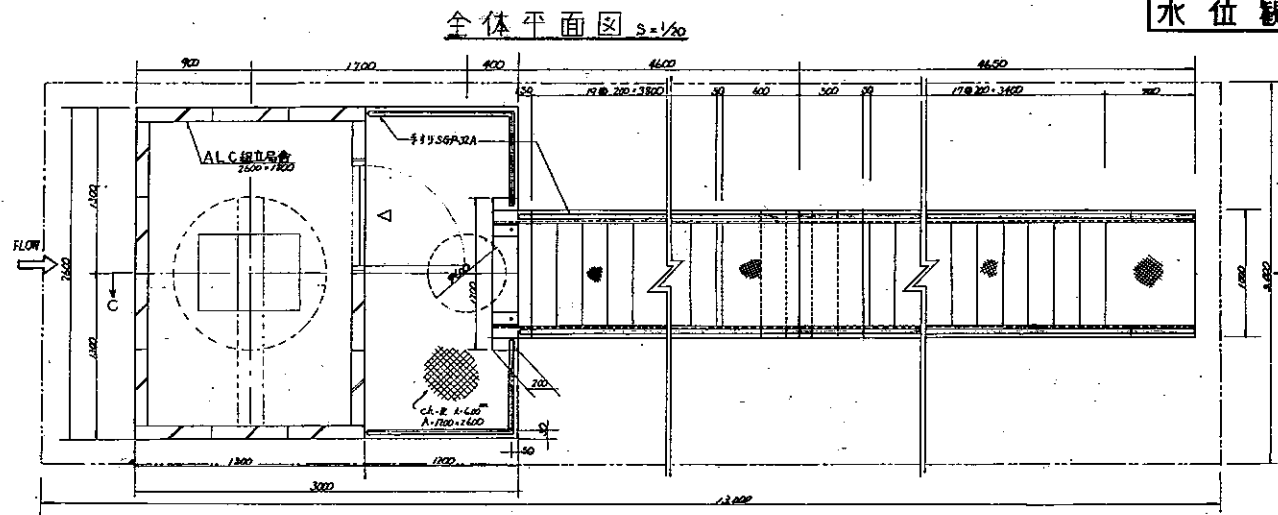
パブリックマツト布敷国 1/100



洗灰防止マットとバリアックマットの重りは0.5"中と注、
洗灰防止マットの下にバリアックマット同厚の砂を敷く。

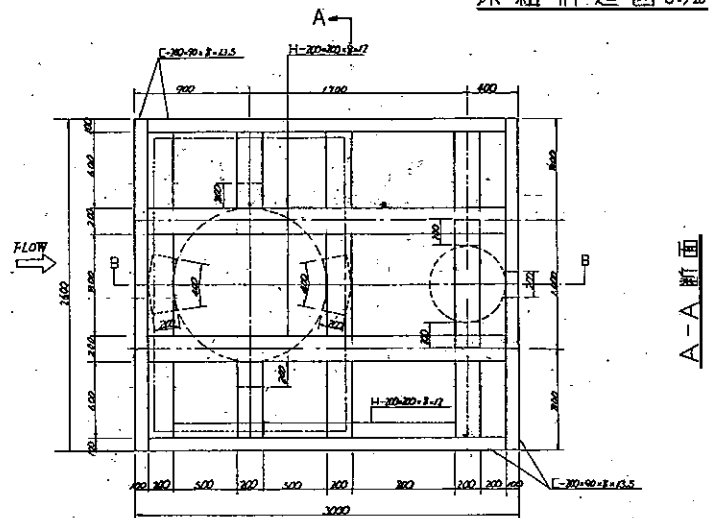
完				成			
△		分	部	管	理	課	長
△		分	部	管	理	課	副
△		分	部	管	理	課	技
△		分	部	管	理	課	計
▲		分	部	管	理	課	主
▲	注記変更	分	部	管	理	課	主
追加番号	0255	電話番号	11-07				
工事名	筑後大堰本体、その補工等						
3号4号水位塔							

水位觀測所(LW₁ LW₂)構造圖

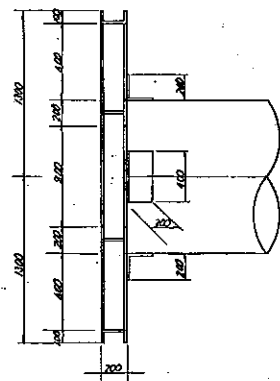


平面图

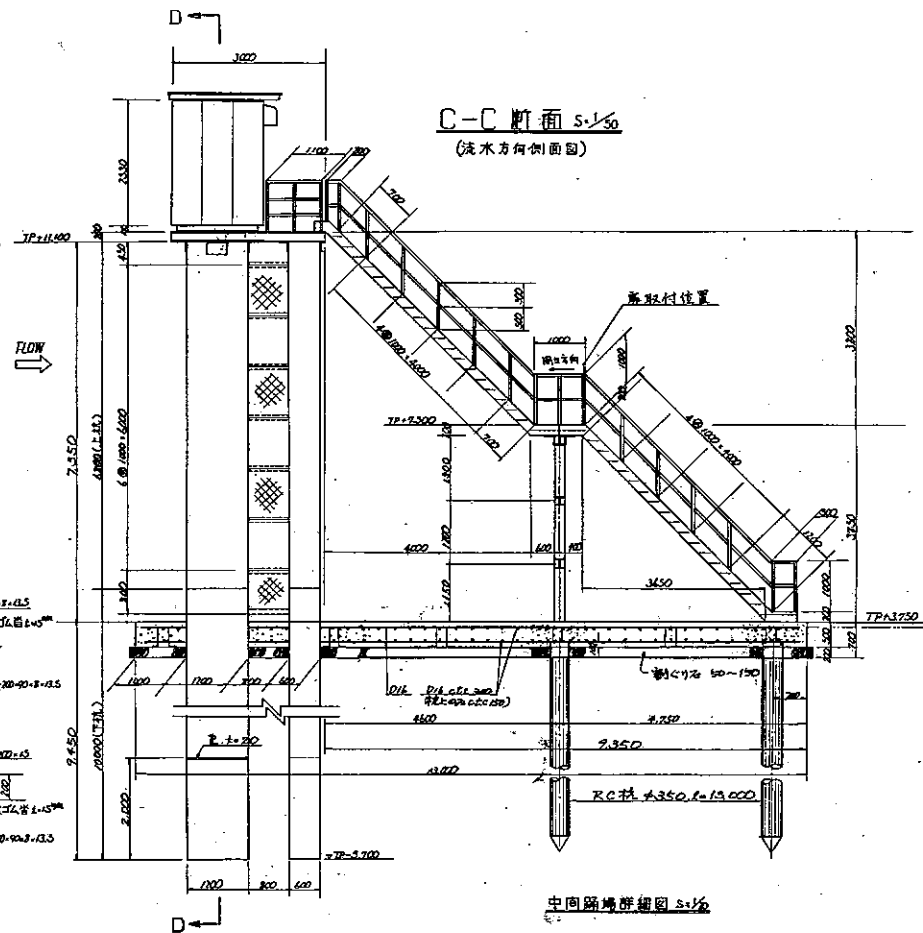
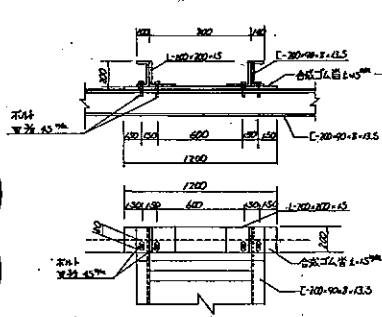
床組構造図 $S=1/20$



A-A 剖面

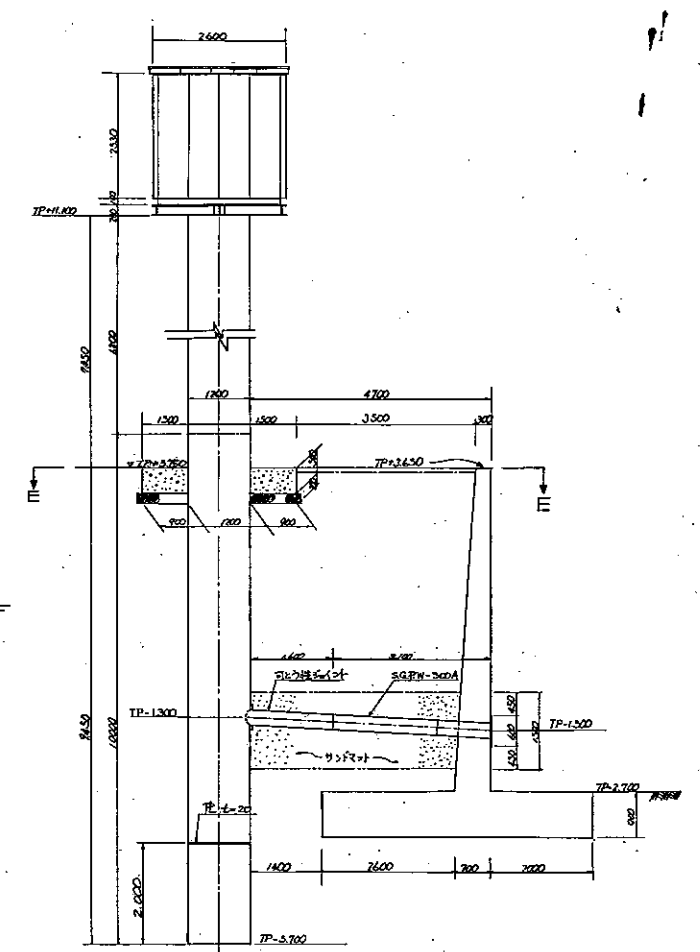


床取付部詳細図 5-1/20

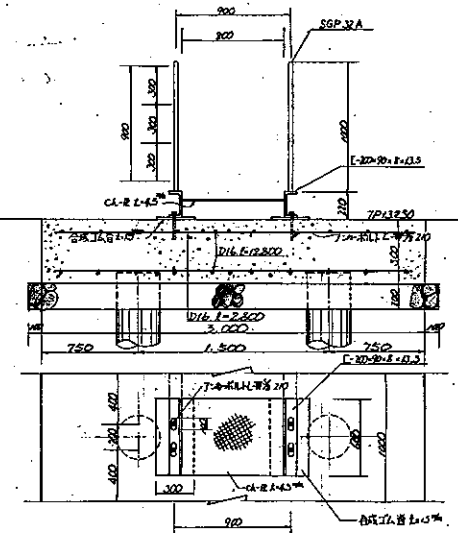
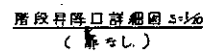


C-C 断面 S.1/30
(流水方向側面図)

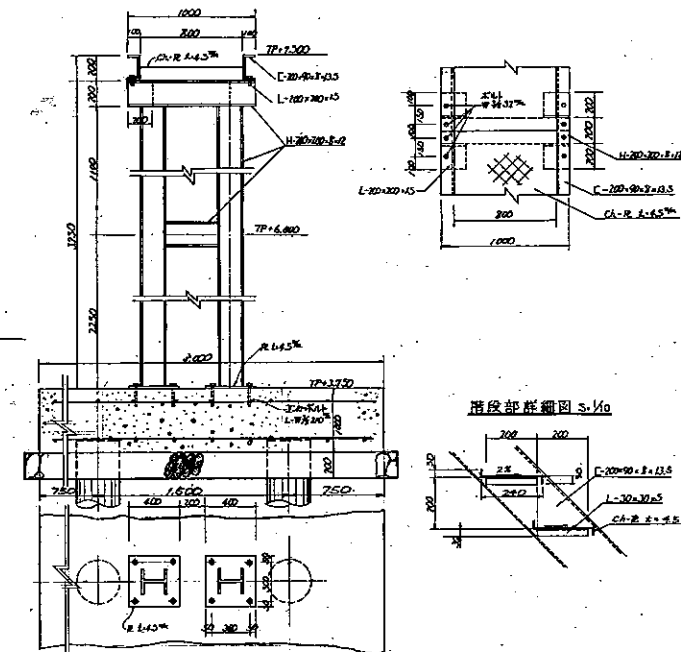
LW₂, D-D 断面 s₁/s₀



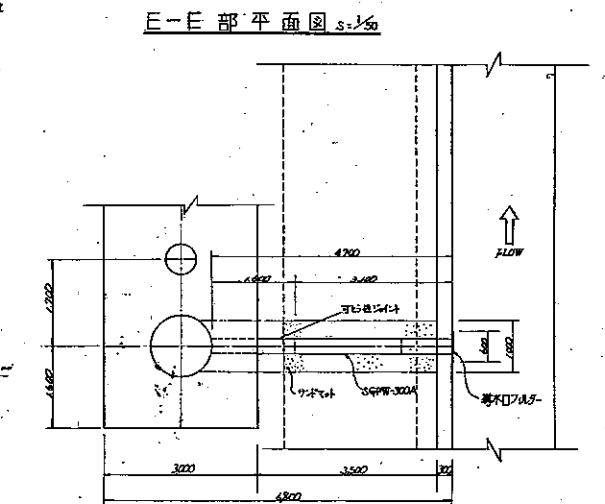
中間踊場詳細図 S1/6



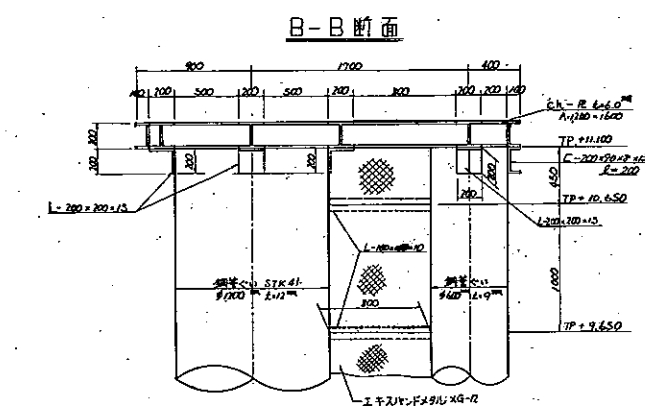
階段号降口詳細図 $S=1/20$
(庫なし)



階段部詳細図 5.1/c

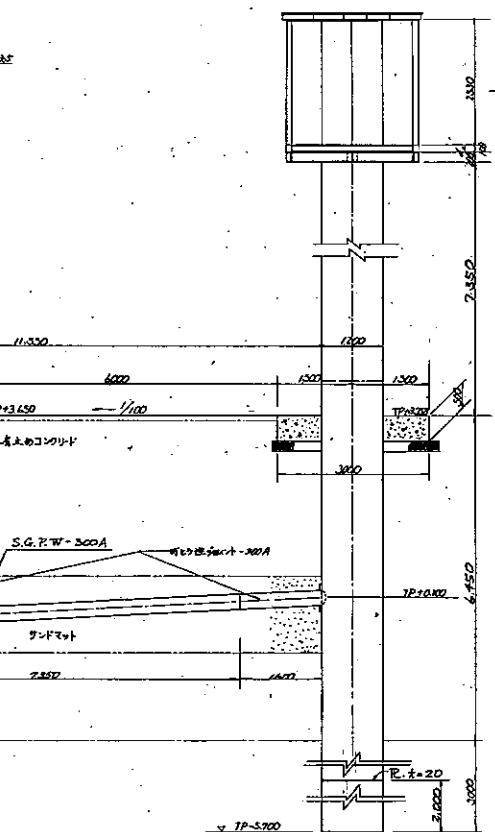


三-三 部 平 面 图 $S=1/50$

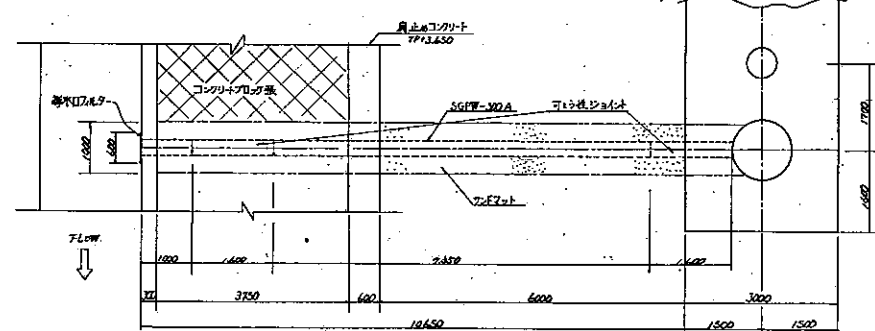


B-B 断面

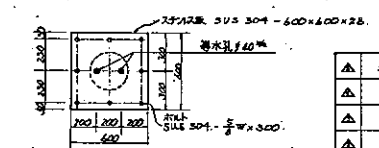
D-D 断面 3.5/50



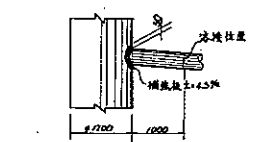
F-F 部平面図 5-1/30



フィルター詳細図 5.1/20



導水パイプ取付詳細図 3.1/30



完 成 図					
△	近知変更。	承認	審議	設計	
△		承認	審議	設計	
△		承認	審議	設計	
△		承認	審議	設計	
△		承認	審議	設計	
△		承認	審議	設計	
発注番号		0228	整理番号		11-01
工事名		筑後大瀬本体その他工事			
1号2号水位塔					

1号2号水位塔